

## 令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	4. 志津図書館管理運営事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	4. 図書館費	担当所属	志津図書館

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	-
經常	単独	通常	0	0	4,924		令和3年度	-
							令和4年度	-
							令和5年度	-
							令和6年度	-
							令和7年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	39	
本年度当初査定額	39	3,480

財源内訳	諸収入	-	-	-	-	-	一般財源
本年度当初要求額	39						△39
本年度当初査定額	39						3,441

**<事業に関する説明>**

<p>(事業の概要) ・志津図書館の図書、視聴覚資料、その他のオンライン情報などを収集し、公共の財産として良好な状態に管理し、無償での貸出および返却業務が円滑におこなわれるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の定期的な点検を行い、必要な修繕をおこないます。</li> <li>・県内の図書館と連携したり、サービス向上のための研修に参加します。</li> </ul>	<p>(事業の目的) ・志津図書館の利用者に、安全で快適な空間と資料貸出、レファレンス等の充実した図書館サービスを提供します。</p>	<p>(事業の効果) ・一人一人が求める資料や情報にアクセスし、自ら学び、教養を身につける支援をすることにより、佐倉市全体の文化の向上に寄与します。</p>
<p>(事業実施上の問題点) コロナの影響で入館者数が減少していますが、もともとは他と比べても利用者が多い施設です。休館のあった令和2年度の実績に基づいて積算していますが、コロナ以前まで利用者が戻ってくると、経費が足りなくなります。また、開館から20年以上が経過し、施設や備品の老朽化により、修理の必要が生じています。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 新聞・雑誌購読料の上昇はありますが、休刊雑誌も多く、実態に合わせて積算しています。またこれまでの実績に合わせて、各費用の見直しを行いました。令和3年度におこなわなかった郷土資料の製本は、利用に耐えなくなっているため、令和4年度におこないません。</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	55	60	△5
10	3,135	3,278	△143
11	290	303	△13

款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額	
特定財源	22	05	04	01	50	04	コピー機使用料	37	37	40	△3
	22	05	04	01	50	40	利用者端末資料複写料	2	2	5	△3
差引一般財源							△39	3,441	△45	3,486	